

会 議 録 (1)

会議の名称	平成30年第1回桶川市総合教育会議			
開催日時	平成30年5月14日(月) (開会)午後2時00分・(閉会)午後4時00分			
開催場所	桶川市役所 会議室401			
出席者構成員	小野克典(市長)、岩田 泉(教育長)、水村実男(教育長職務代理者)、 小野原典子、青木健志、西永和子、秋山節子			
欠席者構成員	なし			
傍聴人数	2名			
事務局職員 職名及び氏名	企画調整課	教育総務課	学校支援課	学務課
会 議 事 項	議 題			
	1. 議題			
	2. 報告事項			
決 定 事 項 等	決定事項等			
	1. 議題			
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回桶川市総合教育会議次第</li> <li>・ いじめ防止について(議題(1)資料)</li> <li>・ 教職員の働き方について(議題(2)資料)</li> <li>・ 学校における働き方改革に係る緊急提言(議題(2)資料)</li> </ul>			

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
教育長	平成30年第1回桶川市総合教育会議を開会する。
市 長	<p>1 あいさつ</p> <p>(市長あいさつ要旨)</p> <p>5月7日から新市庁舎で業務を開始した。</p> <p>新潟で、小学生に対する痛ましい事件があった。桶川市でも、地域の皆様や関係機関のご協力もいただきながら児童の安心・安全に努めているが、より一層の子供たちの見守り活動強化の重要性を感じる。</p> <p>総合教育会議は大津市のいじめ問題を機に設置され、今年で4年目となる。いじめの根絶を目指し、教職員が子供たちと向き合う時間を確保し、小さな変化を見抜けるようにすることが大切である。教職員の働き方改革など、現場の教職員の課題解決に向けた実りある意見交換ができればと考えている。</p> <p>(教育長あいさつ要旨)</p>
教育長	<p>市長と教育委員が全員揃って話せる年2回の会議なので、思いや願いを意見交換できればよいと思う。</p> <p>学校の人事異動では、女性の教頭の人数が男性の人数を上回った。校長会義・教頭会議では非常に意欲的で、「それぞれの学校をより良くしていきたい」とのエネルギーを感じた。</p> <p>公民館等をリニューアルし勢いがついた諸活動が進み、生涯学習文化財課やスポーツ振興課でもオリンピック・パラリンピックに向けて機運が高まり、教育委員会の勢いは増したと感じる。</p> <p>本日は、いじめ防止、教職員の働き方について意見交換をしていただき、限られた時間だが、お持ちのお考え等は率直にお話いただきたい。</p>
教育長	<p>2 議題</p> <p>(1)「いじめ防止」について</p> <p>事務局から説明する。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
事務局 (協議 /質疑)	(配布資料に基づき説明)
構成員	いじめアンケートは記名か無記名か。
事務局	保護者用は記名している。
構成員	さわやか相談員とスクールカウンセラー・教育センターとの連携はどのようなか。
事務局	さわやか相談員は常に学校にいたので相談しやすい。 さわやか相談員が、より専門的な立場の意見を聴きたいときは、来校するスクールカウンセラーにつなぐ。さわやか相談員は、教育センターの不登校生徒等を対応の相談員とも協力している。
構成員	小学生がスクールカウンセラーにつながるまでは、どのようなルートか。
事務局	各小学校から、各中学校のさわやか相談員について通知を出しているのので、保護者から、さわやか相談員を通じてスクールカウンセラーへ連携する。
構成員	スクールソーシャルワーカーの所属は。
事務局	学校支援課に所属し週2回学校へ回っている。
構成員	この認知件数は、客観的には多いのか。
事務局	児童・生徒数に対する認知率は埼玉県よりも低い。 アンケートの設問の仕方は、文科省の調査項目に準じている。
構成員	中学1年生が多いことについて考えられる理由は。
事務局	部活動にかかわるもので、大人の目に入りやすいと考える。 中学2年生・3年生が減っていくのは、大人に訴えなくなったり、関心が進路や部活動など自分のことに向いてきたりすることが原因と考える。
構成員	金品に関する項目の内容は。
事務局	警察に届けるような事案はなく「おごって」などであった。いじめとの訴えがあれば調査をして対応する。
構成員	SNSに関するものが世の中には多く深刻化している。桶川では少ないが。
事務局	各学校での指導、ネットパトロールをおこなっているが、親も学校も分からず、アンケートにも書かない、潜在したものもあると考える。
構成員	ネットパトロールの実績は。

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
事務局	過去にはあったが、この数か月はゼロ件。
構成員	アンケートにいじめがあったと書かれていた場合、対応はどうしているか。
事務局	担任から面談をする。その後、生徒指導委員会で今後の対応を検討し、対応し見守り、3か月何もなければ対象から外す。
構成員	いじめの認知件数の経年変化はどうか。
事務局	H27（小学校5・中学校13） H28（小学校33・中学校16）
構成員	H28は激増している。
構成員	H27年2月に基本方針が変わり「認知」と言葉の定義をしたためと思われる。
構成員	反省点はあるか。新制度になってからの総合的なまとめは。
事務局	未然防止策については不十分と考える。 アンケートには書けない・書かない児童・生徒への対応ができていないと考える。 いじめが起こらないよう、起こる前の対応が今後必要と考える。
教育長	質疑を終結する。ご意見があれば願います。 今後の取組に重点化するもの、新たな取組として必要なことはないか。
構成員	認知する、拾い上げる、聞く耳をもつ精度をどれだけ上げていくかが大事である。 アンケートを書きやすくする、児童生徒の言えない部分をいかに言えるような雰囲気づくりをするかが大事。 いじめが発生しないためにどうするか。命の大切さや「いじめはいけないんだ」という授業の強化が必要と考える。 赤ちゃんふれあい事業や道徳授業の充実化など進めてもらいたい。
教育長	スクールカウンセラーが中学校のみであるが、いじめの認知件数データは小6・中1が多い。現状の配置で間に合っているのか。検討する必要があるのではないか。スクールカウンセラーは県が派遣している事業だが、生徒数や地域によって、一律配置ではない。桶川に何名配置されているのか事務局から説明を。
事務局	単独配置、複数配置がある。学校の要望から市教委の要請を受けて県が配置する。
構成員	急激にアップしているので、注視してほしい。 桶川に何人配置しているか。小学校への対応は。
事務局	3名で、1名は2校兼務である。小学校に対しては要望があれば保護者対応をす

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
構成員	<p>る。</p> <p>さわやか相談員のほうが子供にとって身近で相談しやすいようだ。</p> <p>さわやか相談員を各小学校に配置してほしい。</p> <p>「小中連携に効果がある」とあるが、親にも話せない子供たちのために、顔が分かる・この人なら話せるという人においてほしい。</p>
事務局	<p>中学校のさわやか相談員を小学校に派遣し、学校生活に課題のある生徒の状況を把握したり、適切なアドバイスをしたり、スクールカウンセラーや教育センターにつなぐことができた。</p>
構成員	<p>相談できる大人がいるんだという安心感が大事なので、十分効果があると思う。</p> <p>相談員がいても、子供が来るのにハードルがある。相談する人が子供の様子を見る・一緒に給食を食べる・遊びに行くなどをきっかけに、声をかける係わりがある中で子供はやっと相談できる。小学校に相談員がいることはすごいことだと思う。</p> <p>子供がいじめを受けた場合、言わないことが大前提なので、気づく先生がたくさんいてほしい。</p> <p>他市で、いじめ対応専門の教員配置の例がある。子供が言いたくないことを言うためには、大人がもっとアピールすることが大事。絵を入れた広報を作成し子供の目に届くよう工夫している。もっと外部の専門家の力を借りたほうがよい。</p> <p>蓮田市では、相談専門の先生と群大の先生がチームを組んで、相談待ちではなく、学校へ年2回巡回し、授業をみて発達障害に関係するいじめに対応したり困っている先生たちにも助言している。</p> <p>知っている先生だから言えること、知っているから言えないことがある。ゼロは難しいが起こったらすぐ対応し、困り感が減らせるとよい。</p>
構成員	<p>小中連携の指導も良いと思う。小中の先生が続けて指導する、6年生が中学校で部活や勉強を体験したり、中1生が小学校にきて教えたり。「中一ギャップ」が少しでも薄まれば友達への攻撃は減るのではないかと。</p>
構成員	<p>学校の講演会で同級生のお母さん（妊婦）にお話をいただいた例がある。生まれてきた子を兄弟のように接していく流れなどあり、とても良かった。身近な人を呼んでふれあってもらえることはすぐ実行できるので取り組んでほしい。</p>
教育長	<p>それでは、「いじめ防止について」の議題を取りまとめる。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
	<p>① アンケート等書きやすくすること、「思い」を出しやすくすること。</p> <p>② 赤ちゃんやお母さんとのふれあい、動物等を用いながら、命の大切さを感じさせていくこと。</p> <p>③ スクールカウンセラー・さわやか相談員の小学校配置により、心の中を言えるセッティングを増やしていくこと。</p> <p>④ 広報掲載、外部の専門家の力を貸していただき改善していくなど、打って出るやり方が未然防止につながること。</p> <p>⑤ 小中連携で、教職員や子供の交流を活発にする中で、中一ギャップについて平準化すること。</p>
教育長	他にあるか。
構成員	P T A活動の中で、「いじめはダメ」という事を親がしっかり理解するように発信していく必要を感じる。
教育長	⑥ を追加する。
	⑥ 家庭での取組の啓発。P T A活動を含め保護者の協力を求めていく。
教育長	この議題については終結とするがよろしいか。
構成員	了承する。
教育長	(1) の議題については終結とする。
教育長	続いて、(2) 教職員の働き方についての議題について、議題に供する。 事務局から説明する。
事務局	(配布資料に基づき説明)
(協議/ 質疑)	
構成員	休憩時間の明確化は実際にできるのか。
事務局	7時間 45 分の勤務時間中、少なくとも 45 分の休憩をとること、となっているが給食指導や休み時間も子供をみており休憩は取れない現状がある。しかし、お昼と

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
構成員	放課後に分割したり、放課後にまとめてとったりして、その時間は会議や研修などは入れず休憩をとるよう明確化しようとしている。
事務局	実態調査は誰にしているか、どんな仕事に時間がかかっているのかなど内容まで調査しているか。時間のみか。
構成員	昨年度は、勤務時間調査にとどまる。
事務局	項目を細分化すると教職員の負担になる。ただし、考察として、その時期にどんな行事があるかなど、時間が遅くなる原因については市教委として分析している。
構成員	普段から勤務時間の記録をつけているのか。
事務局	教職員ひとりひとりに校務用パソコンが配置されており、校務支援ソフト「ウィンバード」で記録している。出退勤と同時にできない場合もあり自己申告方式。
構成員	教職員自身は、残業時間を少なくしようという気持ちはあるのか。
事務局	部活動指導などを負担に思う職員もいるが、良い授業をしたい・部活動の結果を残したいということを生きがいとしている職員もいる。しかしながら、残業時間が長いことは見過ごせる問題ではないので、より効率的に、教育の質を落とさずに子供たちとの信頼関係を築きながら業務を軽減していく。難しいところではある。
構成員	手書きで行わなければならない業務を電子化する動きはないか。
事務局	電子化に向かった動きは確実にある。
構成員	できたらやるのではなく「いつまでにやる」と期限を決めたらどうか。
事務局	ご意見のとおり。教育委員会として期限や目標を決めて進めたい。
構成員	新たな帳票を作らず、既存のシステムにアクセスしたほうがお互いの作業効率が上がると思うが可能か。
事務局	校務用パソコンが整備されたとき、学校ごとに共有フォルダにデータ蓄積できるようになっているが現場対応が遅れていた。徐々に整備され、過去データを利用できる流れではある。
構成員	夏季休業中の学校閉庁はよかった。なぜ、冬季・春季など増やさないのか。
事務局	今後、検討する。
	夏季休業は、お盆期間に日直を置いていた。まとまった休みで休養させるため閉庁日の設定をした。その間の問い合わせは教育委員会が受ける。春休みや冬休みは、入試準備や年度末のまとめ新年度準備もあり難しい。

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
構成員	春以外なら研究の余地があると思うが。 12月29日から1月3日の休業日前2日間は出来ないか。
構成員	働き方の見直しは、先生にもリフレッシュしてもらいたいということ。子供と関わらない部分(書類)など何にポイントをおくかは大事なこと。給食費の公会計化など進めてもらいたい。ゆとりをもって早く帰るのではなく、子供とゆっくりかかわる時間を持ち、授業もしっかりやっていただきたく方向を大事にしてほしい。
構成員	水曜日がノー残業デーということだが、11校でしているか？
事務局	学校では水曜日を定時退勤デーとしている例が多い。行事や大会などによって変わることも多い。
構成員	部活動も水曜はやっていないことが多いか。
事務局	部活の休部日は異なる。職員会議の日を休部日としている場合もある。水曜日が休部日でない場合も早めに帰りましょうという設定の学校が多い。
構成員	以前も給食費の公会計に向けた取り組みなどあったが、緊急提言の施策にのっていないのは何故か。調整を進めているということか。
事務局	お見込のとおり。
教育長	質疑を終結し、本市における働き方改革についてご意見を頂戴したい。
構成員	部活動について、文科省では週1回か週2回お休みとの指針が出ているが、それをするには部活動の充実が大事なところである。外部コーチや専門的知識をもった先生方が、より充実した活動ができるようにしていかないといけない。先だって、外部コーチの規約を検証しようという話があったが、より専門的な講習なり知識なり、外部コーチも教職員も必要になる。研修など充実させていただきたい。
事務局	指導員の充実は非常に有効と考える。しかし、外部指導員が入ることによって子供たちがトラブルに巻き込まれるといけない。外部指導員への委嘱状を渡す時に、研修会を実施すると伝えた。これまで以上に健全育成にご尽力いただけるようにしたい。
構成員	謝礼の積算、ボランティア活動しているときの責任の所在は。
教育長	外部指導員のシステムは今どうなっているか説明を。
事務局	年間9万円支払をしている。1時間千円。90時間までは予算内だが、みなさんそ



議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
	れ以上に活動されている。
構成員	90 時間を超えて活動して何かあったら保険で対応するのか。
事務局	そのとおり。
構成員	問題がないのであればもっとやってもらいたい。
教育長	ほかに意見はあるか。
構成員	先生たちの声も聞いてみたい。何に負担があり、どんな事なら減らせるのか。これだったら減らせるということは、現場の先生方が一番よくわかるのでは。桶川市で出来ること、現実にできることを探してほしい。
事務局	職員の声は聞いていきたい。
構成員	校務パソコン支援システムは、今あるものを使うことで業務が数段向上するのか。
事務局	教育総務課と連携して構築を進めている。
構成員	それで効率化できる時間がどれくらい出るか、という数字をもっていると強い。
教育長	ほかに意見はないか。
構成員	なし。
教育長	「教職員の働き方について」まとめる。 ① 部活動の外部コーチのより一層の充実 (研修も含む) ② 外部指導員の謝礼や保険の関係は、現状で問題なし。 ③ タイムカードの導入、教員の仕事を減らせるものは何なのか声を聞いていただきたい。 ④ 校務パソコンは、教育委員会と学校がつながり良い形になると思われるが、数値でバックボーンをとれるものはないか質問があったので研究していただきたい。 他に何かあるか。
構成員	なし。
	3 報告事項
教育長	(1)「学校運営協議会について」事務局から報告する。
事務局	今年度は準備委員会の活動と位置付けている。モデル校 2 校加納小・川田谷小を選定した。どちらも地域との結びつきが強く、学校長も制度活用の意欲がある。準

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
	<p>備委員会の委員は各学校からの推薦。主に、区長・PTA関係者、学校応援団のコーディネーターなど。年間5回の準備委員会を開く予定。</p> <p>1回目は、コミュニティスクールとはどういうものかの説明を行う。</p> <p>2回目は、講師を招き、本格実施に向けた実践講習会を行う。</p> <p>3回目は、学校運営協議会設置要綱を作成し、市内11校で実施できるよう体制の整備を図る。</p>
	<p>4 その他</p>
構成員	<p>市長から新潟の事件の話があった。今市市の事件を受けて当市は安全パトが始まったが、10年以上経ち意識の低下があるかと思う。巡視した記録を救い上げる手段がないので、システム再構築を検討して頂けるとよいと思う。</p> <p>活動に参加してレポートを書いているが、どこにも発信できないもどかしさがある。システムをつなげてくれれば発信できる。公にやっていただけないか。</p>
構成員	<p>学校応援団のものであれば報告する。</p>
構成員	<p>防犯推進委員・安全パトロールのほか、地域によって色々な会が行っているが目的はひとつだと思う。未然防止活動の吸い上げをしてほしい。安心安全課につながれば警察につながる。</p>
教育長	<p>安全パトロール隊に関する所属と、報告等について、それぞれの状況を確認すること。</p>
教育長	<p>その他何かあるか。</p>
事務局	<p>次回の総合教育会議の日程について平成30年11月を予定したい。</p>
教育長	<p>以上をもって、平成30年第1回総合教育会議を閉会とする。</p>